

**機能性・利便性向上のために
執務室の配置の見直しを**

湖誠会 近藤 眞 弘

問 現在の庁舎は、老朽化に加え、執務室や通路が狭隘^{せきあひ}で機能性が低く、また、課の配置の関係上、手続きの際に本館から新館まで移動しなければならぬことがあるなど市民の利便性も低い。現庁舎の執務室を全般的に見直すべきと考えるが、見解は

答 全体の面積が限られているため、抜本的な見直しは困難であるが、本庁舎外での執務室の確保の可能性も含め、市民の利便性向上と執務環境の改善に向けて不断の取り組みを進め、適切かつ柔軟に対応していく。



市役所本庁舎内の狭隘な通路

**NHK大河ドラマゆかりの地
としての継続的な観光PRを**

湖誠会 竹内 基 二

問 「麒麟がくる」を契機とした観光PRはコロナ禍の影響で十分な結果が得られなかったが、今後も木曾義仲ゆかりの義仲寺など、本市が注目される機会は続くため、大河ドラ

マゆかりの地として観光PRを継続していくべきと考えるが、見解は

答 令和4年放映予定の「鎌倉殿の13人」については、ゆかりのスポットなどを紹介するホームページの作成を予定しており、今後も本市が大河ドラマで取り上げられる機会を捉えた取り組みを検討していく。

**湖岸緑地一帯の樹木管理と
倒木時の情報発信の現状は**

湖誠会 寺田 英 幸

問 瀬田周辺の湖岸緑地一帯のうち、市が所管する樹木に対する倒木防止も含めた管理状況と、市民生活に支障の出る場所での倒木発生時における情報発信に対する見解は

答 指定管理者による3年に1回の剪定^{せんてい}や樹木診断のほか、市が管理する樹木は2年に1回の剪定やワイヤー支柱での固定などを行っている。倒木などの事故発生時は看板設置などで周知しているが、今後市民に多大な影響を与える事案は、迅速に近隣の自治連合会などへ情報提供する。

**若者の定住促進などに資する
奨学金返還支援制度創設を**

公明党議員団 中田 一 子

問 日本学生支援機構の貸与型奨学金制度利用者は学生の約4割で、経済的事情で返済を延滞する若者が少なくない。他自治体では、若者の定住促進などを目的に奨学金返還支援

制度が実施され、国でも地方創生につながるよう財政援助を拡充していることから、本市でも支援制度を創設すべきと考えるが、見解は

答 現状、制度の創設は考えていないが、国による制度の見直しを踏まえ、活用も視野に入れつつ他自治体の状況や実績などの把握に努める。

**公園内へ大津市産木材を
使用した休憩所の設置を**

市民ネット21 奥村 功

問 瀬田湖岸緑地では、突風などの悪天候による樹木の倒木や、老木の腐食などがあり、公園樹木の適切な維持管理が求められている。一方で木陰となる高木の伐採が続くと、公園に訪れる市民の休息の場がなくなるため、大津市産木材を使用したベンチや屋根がある休憩所を設置することを提言するが、市の見解は

答 市北部の都市公園で大津市産木材を使用したベンチを採用しており、今後、既存の公園などでも更新する際には、積極的に検討していく。

**教職員の働き方改革に向けた
本市の取り組み状況は**

市民ネット21 草川 肇

問 教職員の働き方改革は大きな課題であり、市でも超過勤務縮減に取り組み進んできたが、現在の状況は

答 働き方改革が進むよう、校長会などでの指導やスクールサポートス

タッフの配置、留守応答メッセージの導入などを進めてきたほか、タイムカード制を導入し、客観的な勤務時間の把握に努めている。今後、法定以上の超過勤務が発生しないよう、業務の見直しや平準化する取り組みなど、現場の声も聞きながら業務の効率化を検討していく。

**河川愛護看板の
次世代への引き継ぎを**

市民ネット21 田中 知久

問 市が設置している河川愛護看板は老朽化による劣化が目立つため、次世代に引き継ぐ取り組みが必要である。流域の子どもにもイラストを作成してもらったりなど、子どもの力を用いることは、河川愛護を通じて自然との関係を理解する手助けにもなると思うが、市の見解は

答 地域の方に作成関わっていたことで看板設置効果の向上が期待できるため、今後の看板更新時は、子どもの参画も含め、地域の実情に応じた効果的な手法を検討する。



老朽化による劣化が目立つ河川愛護看板

※瀬田周辺の湖岸緑地一帯 この質問では瀬田湖岸緑地、唐崎公園、粟津・晴嵐の湖岸緑地を指しています